



# 三角比の性質の確認

◇  $\theta \pm 90^\circ \times n$  の三角比として考えると...

- ①三角比部分
- $n$ : 偶数  $\Rightarrow$  不変 (sin  $\rightarrow$  sin, cos  $\rightarrow$  cos, tan  $\rightarrow$  tan)
  - $n$ : 奇数  $\Rightarrow$  変化 (sin  $\rightarrow$  cos, cos  $\rightarrow$  sin, tan  $\rightarrow \frac{1}{\tan}$ )

- ②符号 角度がどこの象限にあるかを調べ、その符号を適用させる。  
 $\theta$  などの文字を含んでいる場合は  $\theta$  を第1象限の角 ( $30^\circ$  など) と仮定して元の三角関数に代入し、 $30^\circ \pm 90^\circ \times n$  がどこの象限にあるかを調べ、その符号を適用させる。

例)  $\sin 160^\circ = \sin(70^\circ + 90^\circ) = \sin(70^\circ + 90^\circ \times 1) = \cos 70^\circ$  ×1なので変化、160°は第2象限にあり sin 160°は+になるので符号は+

$\cos 250^\circ = \cos(70^\circ + 180^\circ) = \cos(70^\circ + 90^\circ \times 2) = -\cos 70^\circ$  ×2なので不変、250°は第3象限にあり cos 250°は-になるので符号は-

$\tan 340^\circ = \tan(70^\circ + 270^\circ) = \tan(70^\circ + 90^\circ \times 3) = -\frac{1}{\tan 70^\circ}$  ×3なので変化、340°は第4象限にあり tan 340°は-になるので符号は-

$\cos(\theta + 270^\circ) = \cos(\theta + 90^\circ \times 3) = -\sin \theta$  ×3なので変化、 $\theta + 270^\circ$ なので $\theta = 30^\circ$ と仮定すると  $30^\circ + 270^\circ = 300^\circ$ は第4象限にあり cos 300°は+になるので符号は+

◇ 角  $\theta$  の動径と単位円の交点を  $P(a, b)$  とすると  $\cos \theta = a$ ,  $\sin \theta = b$ ,  $\tan \theta = \frac{b}{a}$

